過去問・予想問題の復習

間違い直しノート

1回分
1枚
書き込み式

点数を見て終わりにしない。間違いを4つに分けて、次の回で変えることを1つだけ決める。前日に読むのは、参考書ではなくこのノート。

1 今回の記録

解いた問題（年度・回）	日付	リーディング	リスニング	通過時刻（第4問・第6問・第8問）
		／100	／100	分・　分・　分

2 間違いを4つに分ける（問題番号を書く）

種類	見分け方	問題番号	数
A 知らなかった	単語・表現・文の形が分からなかった		
B 読めた（聞けた）のに選べなかった	本文は分かったが、選択肢で迷った・引っ掛かった		
C 時間が足りなかった	最後まで行かなかった・焦って読み飛ばした・先読みが間に合わなかった		
D うっかり	NOT の見落とし、マークのずれ、主語の取り違え		

正解でも、迷って△をつけた問題は B に入れる。たまたま当たった問題は、本番では外れる。

A 知らなかった語・表現（例文ごと書く）

B 引っ掛かった選択肢と、誤答の型

型：言い過ぎ／半分だけ正しい／本文の単語を並べただけ／常識では正しい／人・時のすり替え／原因と結果が逆

C 目安より遅れた大問と、その原因

D 自分のうっかり一覧（次の回の前に読む）

3 次の回で変えることを、1つだけ

例：「第6問の並べ替えは、時間の線を書いてから選ぶ」「リスニング第3問は、解答時間の残りで次の問いを読む」。2つ以上書かない。

4 得点の記録：1回の点で判断しない。見るのは大問ごとの失点

回	日付	R 合計	第1〜4問（39点）	第5〜8問（61点）	L 合計	A	B	C	D	次に変えたこと
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										

A〜D の数が、回を重ねるごとにどう変わるかを見る。B が減らない人は誤答の型、C が減らない人は時間配分、D が減らない人は見直しの手順を確かめる。

リーディングの復習（1回分 約60分）

1. **全部の設問で、根拠の文に線を引く**（20分）。合っていた問題も
2. **間違えた大問を、時間を計らずに読み直す**（20分）
3. **その大問を、声に出して1回読む**（10分）
4. **このノートを書く**（10分）

リスニングの復習（1回分 約40分）

1. **間違えた問題を、スクリプトを見ずにもう1回聞く**
2. **スクリプトを見て、聞こえなかった所に線を引く**
3. **その文を、音声に重ねて5回言う**
4. **先読みで何を読んだかを振り返る**

点が下がった回の受け止め方

直前の練習の点は、本番の点ではない。問題との相性で10点くらいは動く。**下がった回こそ、復習の価値が高い。**間違えた原因を一言で書き、同じ型の問題を1つ解き直せば、その日の練習は成功。

復習の進め方は原田英語の目安です。学校や塾のやり方がある人は、そちらを優先してください。